



**本願寺「唐門」(国宝)**

桃山時代の豪華な装飾彫刻が随所にちりばめられた檜皮葺き・唐破風の四脚門です。彫刻の見事さに日が暮れるのを忘れて見とれてしまうことから、「日暮らし門」の別名があります。2018年6月から修復工事が行われ、門全体の黒漆が塗り直されたほか、X線分析で顔料を特定して彫刻が彩色されました。2021年9月、修復が完了しました。(写真提供：本願寺)

# 山陰

---

編集 御同朋の社会をめざす運動  
山陰教区委員会

発行 山陰教区 教務所  
〒600-0002 松江市大正町四三ノ一  
本願寺山陰教室

TEL 〇八五二 四七四七  
FAX 〇八五二 八三五一  
発行所 佐々木了三 慎

## 今期の実践運動を振り返って

御同朋の社会をめざす運動  
山陰教区委員会副委員長 月洞昇道

コロナ禍、今だ収まらず、教区行事も関係各位の思いむなく、中止が相次いだこの二年間でした。その中であつて、フードバンク事業は広まりを見せ、充実した活動となりました。とても喜ばしいことであり、尊いことです。

さて、習いごとでも何でもいいのですが、何か新しい取り組みを始める時には、原則として次の段階を踏んでいきます。一、意識レベルの入力。二、無意識への受動入力。三、能動入力。四、成果。何のことか分かりませんが、分かりやすく野球のバッティングに例えると、一、意識レベルの入力―まず技術、理論を教わる。二、無意識への受動入力―反復練習として、ひたすら素振り、トスバッティングを繰り返して、体に覚えさせる。三、能動入力―実践形式のフリーバッティングで試行錯誤を重ねる。四、成果―試合で活躍する。

自分を変える時、組織、社会を革新しようとする場合も、必ずこのプロセスをたどります。

『御同朋の社会の実現』を成果としたとき、ここで私のたどってきた道をこのプロセスに当てはめてみましょう。まず学校で、初めて本格的

に仏教を学びます。そして自坊に帰り、毎日のお給仕、日々の法務に勤しみます。聴聞を重ねてお念仏申す日暮らしをしてきたつもりで、今に至っています。つまり、また二、無意識への受動入力―反復練習の真只中ということになります。実践運動の取り組みは、三、能動入力に当てはまるので、私はまだその段階にないということになるでしょう。困りましたね。

しかし、よくよく考えてみれば、私のたどった道には、私の少し先を行く方々や、一緒に歩みを進めてくれる人、そして後に続く者までいてくれるではありませんか。その方々全て『御同朋』と言えるのではないのでしょうか。浄土真宗は僧侶も門徒も隔てなく、ともに如来さまに育てられていく稀有な教えです。今、私

がどの段階にしようとも、全く障りになりません。

とは言え、私もそろそろ反復練習から、能動入力へと移っていかねければなりません。その道は険しくとも、如来さまと一緒に歩むなら、何の心配もありません。よろしければご一緒に『自他共に心豊かに生きる』ことのできる社会の実現を目指してみませんか？

### 鈴木恭之 元宗会議員ご逝去

元僧侶宗会議員・鈴木恭之氏(神門組明顯寺前任職)が、去る二〇二二(令和四)年十一月二十九日にご逝去されました。ご生前を偲び、謹んでお悔み申しあげます。

故鈴木氏は、宗務所・帯広別院・札幌別院・神戸別院などで勤務され、宗務所では伝道院部長、同朋運動本部事務室部長などを務められました

そして、退職後は、教区において組長会会長、教区基幹運動推進委員を歴任され、二〇〇二(平成十四)年からは十年間にわたり宗会議員を務められました。  
在任中は、津村別院輪番・堺別院輪番、総務の要職を歴任されました。満八十七歳。

### 原田光生 宗会議員ご逝去

僧侶宗会議員・原田光生氏(大田西組浄土寺住職)が、去る二〇二二(令和四)年十二月二十九日にご逝去されました。ご生前を偲び、謹んでお悔み申しあげます。

故原田氏は、沖繩開教地・広島別院で勤務され、退職後は、教区において、教区宗会議員、組長会副会長を歴任されました。

においては法要教化本部長・法要団参本部長にご就任。また、来たる二〇二三(令和五)年にお勤まりになります親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要においては、総務本部長を歴任されました。満七十二歳。

二〇〇一(平成十三)年から四年間、二〇一二(平成二十四)年から九年間の十三年間にわたり宗会議員を務められました。  
第二十五代専如門主伝灯奉告法要



### 僧侶宗会議員 補欠選挙報告

現職の僧侶議員・原田光生氏のご逝去により、二〇二二(令和四)年二月二十二日、僧侶宗会議員補欠選挙が実施されました。議員定数一名のところ立候補者が一名であったため、無投票となり、次の方が当選されました。

(敬称略)



僧侶議員

菅原俊軌

所属 大田東組 高林寺 住職  
(新人・初当選・満七十三歳)

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店  
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

〒600-8328 京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609  
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836  
フリーダイヤル 0120-178-413  
フリーファックス 0120-343-036

御本山御用達 開明社員

代表取締役社長 今岡規代  
●本社  
600-8468  
京都市下京区堀川通  
新花屋町角(西本願寺前)  
Tel 075-351-1234  
0120-075-720  
Fax 075-341-7905  
●東京店  
160-0008  
東京都新宿区四谷  
三栄町十四番地三  
Tel 03-3358-1500  
Fax 03-3359-8902



井筒法衣店

オンラインショップを開設しました



フードバンク活動報告

山陰教区実践運動の具体的な取り組みとして、令和三年四月から実施しているフードバンク活動も一年が経過し、これまでに一二〇を超える個人や団体の方が食料品や日用品を届けてくださるなど、多くの方のご協力をいただき、少しずつ支援の輪が広がっています。

また、本願寺新報（二〇二二年一月二十日号）や本願寺のホームページ「地域活動」でも紹介されるなど、教区を越えて多くの方に活動が周知されるようになりました。

寺院のお供えや家庭で食べきれない食品など、支援を必要とされる方や施設にお届けし、社会にあふれる「もったいない」を「ありがとう」へ変えるために、今後もフードバンク活動にご協力をお願いいたします。



12月8日に大田市で開催した同朋社会研修会にお持ち寄りいただいた食品

山陰教区同朋社会研修会に参加し

「沖縄戦」を視聴して

大田東組 真浄寺 加藤裕治

一九八五（昭和六〇）年十二月の下旬、「平和学習ツアー」と題した旅行で沖縄を訪れたことがありま

すと記憶しています。そんな中、沖縄戦に詳しい現地のガイドとともに「ガマ」に入りました。明かりを全部消すと真つ暗になり、目の前にかざした手も見えない状態に恐怖を感じたのを覚えています。その時の説明で、日本兵は自分たちが助かるために「ガマ」から住人を追い出した話や、一緒に入っている赤ちゃんの泣き声を理由に、母親とともに追出した話（その後母親だけ帰ってきた）などを聞きました。

このような話を聞いたものの、今回「沖縄戦」の映画を視聴して、より詳しく実態を知ることができました。とくに「チビチリガマ」で起きた凄惨な強制集団死（集団自決）は、母親たちが我が子を包丁や鎌で手にかけていたというものです。その時の母親たちの気持ちは想像すらできないのですが、どんなにか辛かったことでしょうか。また、生き残った何人かの母親のその後の生涯は、どのようなものだったのでしょうか。



監督：太田隆文  
制作年：2019年  
制作：浄土真宗本願寺派（西本願寺）

『ドキュメンタリー 沖縄戦』  
日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。その歴史の記憶を克明に描く。監督は原発事故の悲劇を描いた劇映画『朝日のあたる家』で話題となった太田隆文監督。

特に近くの「シムクガマ」では千人近くの住民が、一人の犠牲者もなく助かったと知った時、そして「アメリカ兵は住民を皆殺しにする。」と聞かされていたにもかかわらず、親切に水を飲ませてくれたり、けがの手当てをしてくれる姿を見た時は、いたたまれなかったのではないのでしょうか。その他、子どもだけでガマに避難してきた時、いつもは優しいおじい・おばあから「赤ちゃんを泣かすな。」「静かにできないなら出て行け。」と言われ、子どもだけで外に出されたことなどを体験として語られ、怒りさえわいてきました。この映画を見て『戦争は人の心をなくさせてしまう。』『戦争は勝とうが負けようが多くの悲劇を生み出す。』ということを強く感じました。

# 仏教壮年会連盟出雲ブロック研修会

出雲組 東林寺 影山敏雄

二〇二一年(令和三)年十二月二十五日(土)、雲南市加茂文化ホール(ラメール)において、仏教壮年会連盟出雲ブロック研修会が開催され、年末の忙しい時期にもかかわらず、総勢六十三名の参加をいただきました。講師は山陰教区教務所長佐々木了慎師。テーマは「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)重点プロジェクト(貧困の克服に向けて)について、お話をいただきました。

この研修テーマについては、六月の山陰教区仏教壮年会連盟の総会研修会の際、教務所長からお話を聞

く機会がありました。しかしながら感染症対策の関係で各組から二名しか出席できず、より多くの会員の方々に直接話を聞いていただく方が良いという意見があり、今回の研修会の運びとなりました。

近年、コロナ禍の影響も含め、社会全体の生活にいろいろな問題が生じてきているとのこと。そのような中、経済格差による貧困問題、差別を生む人権問題など現代社会の諸問題を自らの課題として取り組んでいくことが大切であり、それこそが「念仏者としての生き方」にもつながる

## キッズサンガ(子ども・若者ご縁づくり) サポーター研修会

十二月二十七日(月)、山陰教堂教化センター研修室にて「キッズサンガ(子ども・若者ご縁づくり)サポーター研修会」を開催しました。

この研修会の対象は、各組のキッズサンガサポーター、若い世代に仏教を伝えたい方、そして、寺院子弟を含む小中高生です。

学校の冬休みに合わせた日程とし

ました。インターネット配信も行い、四件のオンライン参加がありました(オンライン参加は事前申込制)。

ご講師は、宗派子ども・若者ご縁づくり推進委員であり、スクールカウンセラー・ユーチューバーとしても活動されている武田正文師(邑智東組高善寺)。「実は面白い仏教!」インターネットで繋がって、お寺の

と、資料に基づきお話をいただきました。また、貧困問題については絶対的貧困(生きるために必要最低限の水準に達していない状態)と相対的貧困(地域社会の大多数よりも貧しい状態)とがあり、日本においては、一見わかりにくい相対的貧困が増えている状態だと聞き、改めて格差社会が広がっていると実感しました。

「フードバンク」「フードドライブ」活動として、令和三年度から教務所が主催する研修会や総会時に、参加者に呼びかけ食料品等を持ち寄っていただき、支援を必要とされる方々に届ける活動をしておられ、今回の研修会にも多くの食品などが集まっていました。

この活動はすでに実践されている子たちと友達になろう。」と題し、講義をいただきました。

寺院子弟の皆さんが積極的に発言できるよう、ご講師から配慮いただき、参加者が積極的に発言する賑やかな研修会になりました。

教区の行事に寺院子弟の皆さんが企画されることは、将来の寺院を担う人材の育成にもつながります。参加者同士の交流を深めることも考えながら、今後も継続していきたいと思えます。

寺院もありますが、より一層各組・各寺院の研修会などにも広がっていくといいなと思えました。そして、無理なく末永く持続性のある活動にしたいものです。







講師：西原祐治 師



能美頭之 楽法会会長



小笠原宣隆 実行委員長

# きょうほうかい 楽法会結成三十周年記念大会

鹿足組 誓立寺 朋 澤 融 智

二〇二二（令和四）年二月二十八日（月）、本願寺山陰教堂において、山陰教区青年僧侶の会「楽法会」の結成三十周年記念大会が開催されました。事前の会議から新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインも活用し、実行委員会内で当日の動きなどについて意識の共有を細かく行い準備をすすめてまいりました。

大会当日は歴代会長ならびにOB・OG会員の方々にもご参加いただきました。記念式典の中で歴代会長の皆様から思い出や想いをお聞きし、にこやかで明るい表情を拝見いたしました。活動がとも充実し、良い経験・思い出となっているのだと改めて感じました。

また、OB・OG会員の皆様と現会員が話をされている中で、現会員の話をしている光景がそこにありました。私の父もまた楽法会の会員でした。私の父もまた親御さんが当時の会員として活動されていた会員も現在数名在籍しております。今回、父とともに活動をしてこられたOB・OG会員の皆様とお話をしながら、普段は聞くことのできない、当人から語られることのない父の姿・経験を聞くことができたことは大変に貴重な時間でした。

近 御本山用達  
株式会社 **川勝法衣店**

0120-075-055  
〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入  
TEL.075-371-0367 (代)  
FAX.075-371-5088

印刷と出版でできること。  
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして  
様々なソリューションを提供する。  
人と向き合い、地域と向き合い一緒にってつくること。  
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します  
株式会社谷口印刷  
ハーベスト出版

2022 (令和4) 年度 実践運動 山陰教区 行事予定

Table with 6 columns: 部門 (Department), 行事(事業)名 (Event/Activity Name), 期日 (Date), 会場 (Venue), 講師 (Instructor), 参加者 (Participants). Rows include various committees like 教区委員会, 同朋社会部会, 寺院活動支援部会, 伝道広報部会, 社推協, ビハーラ, 門徒推進員, 布教団, 総代会, 壮年会, 婦人会, 青少年, 矯正教化, and 保護司.

2022(令和4)年度 山陰教区一般会計 歳計予算

【歳入】

款 項	2022年度予算額	2021年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	35,100,000	35,250,000	△ 150,000
1 本年度賦課金	35,100,000	35,250,000	△ 150,000
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	10,630,000	10,020,000	610,000
1 宗派助成金	10,630,000	10,020,000	610,000
3 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
1 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
4 回 金	110,000	110,000	0
1 回 金	110,000	110,000	0
5 雑 収 入	1,160,000	835,000	325,000
1 雑 収 入	1,160,000	835,000	325,000
6 前年度繰越金	12,500,000	8,500,000	4,000,000
1 前年度繰越金	12,500,000	8,500,000	4,000,000
歳入合計	61,300,000	56,515,000	4,785,000

【歳出】

款 項 目	2022年度予算額	2021年度予算額	対比△減
1 教区事業費	13,752,000	13,120,000	632,000
1 総合教化企画費	2,350,000	2,350,000	0
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	2,350,000	2,350,000	0
2 教化費	5,720,000	5,470,000	250,000
1 寺院機能振興費	950,000	1,300,000	△ 350,000
2 婦人青少年費	1,250,000	1,150,000	100,000
3 総代・壮年費	450,000	400,000	50,000
4 研修費	1,770,000	1,420,000	350,000
5 矯正福祉費	350,000	350,000	0
6 文書伝道費	900,000	800,000	100,000
7 教化活動費	50,000	50,000	0
3 助成費	5,432,000	5,050,000	382,000
1 布教団助成金	530,000	330,000	200,000
2 各種団体助成金	690,000	490,000	200,000
3 地方教化助成費	4,212,000	4,230,000	△ 18,000
4 災害対策費	250,000	250,000	0
1 災害活動費	250,000	250,000	0
2 会議費	1,500,000	1,950,000	△ 450,000
1 会議費	1,500,000	1,950,000	△ 450,000
1 教区会議費	950,000	1,300,000	△ 350,000
2 組長会費	400,000	400,000	0
3 各種会議費	100,000	200,000	△ 100,000
4 職員会議費	50,000	50,000	0
3 教務所費	24,810,000	23,610,000	1,200,000
1 人件費	19,110,000	18,410,000	700,000
1 教務所職員俸給	11,500,000	11,200,000	300,000
2 賞与	2,700,000	2,300,000	400,000
3 退職交付金	10,000	10,000	0
4 福祉費	2,750,000	2,750,000	0

【歳出】

款 項 目	2022年度予算額	2021年度予算額	対比△減
5 諸手当	2,100,000	2,100,000	0
6 教区勤式指導員事務費	50,000	50,000	0
2 事務費	3,900,000	3,400,000	500,000
1 通信印刷費	1,700,000	1,700,000	0
2 事務消耗品費	600,000	600,000	0
3 事務諸費	1,400,000	1,000,000	400,000
4 備品費	200,000	100,000	100,000
3 旅費	1,200,000	1,200,000	0
1 交通費	1,200,000	1,200,000	0
4 諸費	600,000	600,000	0
1 慶弔供奠費	150,000	150,000	0
2 接待費	50,000	50,000	0
3 渉外費	200,000	200,000	0
4 雑費	200,000	200,000	0
4 回金	15,850,000	12,550,000	3,300,000
1 回金	15,850,000	12,550,000	3,300,000
1 山陰教堂運営費	12,000,000	10,600,000	1,400,000
2 災害対策費	1,000,000	700,000	300,000
3 退職積立金	1,000,000	1,000,000	0
4 子ども・若者推進事業費	50,000	50,000	0
5 「各種法要」積立金	0	0	0
6 平衡資金	0	0	0
7 慶讃法要費	1,800,000	200,000	1,600,000
5 宗会議員選挙費	100,000	100,000	0
1 宗会議員選挙費	100,000	100,000	0
1 宗会議員選挙費	100,000	100,000	0
6 予備費	5,288,000	5,185,000	103,000
1 予備費	5,288,000	5,185,000	103,000
歳出合計	61,300,000	56,515,000	4,785,000

## 2022(令和4)年度 本願寺山陰教堂 常例法座 燈映会

場所：本願寺山陰教堂（松江市大正町 443-1）※JR 松江駅南口から徒歩 3 分

	日 時	講 師 名	組	寺 号
2022 年 (令和 4 年)	4 月 21 日 (木) 午後 1 時 30 分～	松林 茂	川 本	福泉寺
	5 月 20 日 (金) 午後 1 時 30 分～	齋藤友法	益 田	善正寺
	6 月 21 日 (火) 午後 1 時 30 分～	藤川昭信	出 雲	光榮寺
	7 月 21 日 (木) 午後 1 時 30 分～	特留宣裕	大田西	法久寺
	8 月 19 日 (金) 午後 1 時 30 分～	毛利孔晶	千須賀	眞淨寺
	9 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分～	市野覚生	浜 田	覚永寺
	10 月 3 日 (月)	報恩講法要	山陰教区・山陰教堂親鸞聖人御誕生 850 年・ 立教開宗 800 年慶讃法要 (併修 於 出雲市民会館)	
12 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分～	佐々木弘信	神 門	西園寺	
2023 年 (令和 5 年)	1 月 20 日 (金)	御正忌法要 (二座) (午前法要) 午前10時30分～ (午後法要) 午後1時30分～	北山祐章	備後教区 沼隈南組光源寺
	2 月 21 日 (火) 午後 1 時 30 分～	金盛徳照	大田東	専勝寺
	3 月 20 日 (月) 午後 1 時 30 分～	西原真公	佐 波	浄土寺

毎月 21 日開座 (10 月・11 月を除く) ※21 日が土日祝日の場合は平日に前倒し

## 2022(令和4)年度 山陰教区 鳥取常例線

各月 15 日～17 日 (5 会所)	組 名	寺 号	講 師 名	
2022 年	4 月	休 線		
	7 月	休 線		
	9 月	大田中	長泉寺	中村英晴
	10 月	千須賀	永照寺	吉川 恭
2023 年	3 月	三 隅	明顯寺	佐々木かおり

## 2021(令和3)年度 ともしび法座開座報告

	開催組	開催寺院	法座名	開座日			出講講師
1	大田東	禮善寺	永代経	令和3年	4月25日	(日)	小笠原宣隆
2	大田中	法乗寺	永代経	令和3年	6月12日	(土)	齋藤 友法
3	大田東	禮善寺	報恩講	令和3年	11月6日	(土)	市野 覚生
4	佐 波	大光寺	報恩講	令和3年	11月13日	(土)	柳樂 由乗
5	江 津	浄念寺	報恩講	令和3年	11月23日	(火)	毛利 孔晶
6	鹿 足	了徳寺	御正忌	令和4年	1月9日	(日)	佐々木かおり

## 山陰教区寺院振興「ともしび法座」のご案内

山陰教区では、住職不在等の理由で法座開催が困難になっているご寺院を対象に、寺院機能の振興を目的として、教区布教団員の奉仕布教による「ともしび法座」を開座しています。この法座は、平成 14 年度（平成 16 年度から「ともしび法座」に名称変更）から実施され、今年で 21 年目を迎えます。これまでに報恩講・永代経法要など延べ約 190 座に出講させていただきました。人口減少・高齢化等の影響で寺院を取り巻く状況は益々厳しくなっています。さまざまな理由から法座が開催できないなどお困りの場合は、教務所までご相談ください。詳細についてご案内いたします。

※ 寺院の所属する組長からご申請いただきます。

2022 (令和4) 年度 山陰教区「勤式練習所」日程・内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、細心の注意を払って開講いたします。

開催日	時間	内容	会場	講師	準備物
5月27日(金)	13:30～16:00	開所式・仏具の法式故実	本願寺山陰教堂	小笠原弘之 師 (大田中組玉泉寺)	平服・布袍・輪袈裟・単念珠
6月9日(木)	13:30～16:00	新制 御本典作法 ※親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要作法	本願寺山陰教堂	山陰教区勤式担当者	「新制 御本典作法」経本、平服・布袍・輪袈裟・単念珠
7月14日(木)	13:30～16:00	「山陰教区・本願寺山陰教堂 親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要」に向けて	本願寺山陰教堂	山陰教区勤式担当者	平服・布袍・輪袈裟・単念珠 ※持参経本は後日参加者に通知
12月22日(木)	13:30～17:00	親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要 ＜東部会場＞ ※ 勤式研修会と併修	本願寺山陰教堂	未定	「新制 御本典作法」経本、平服・布袍・輪袈裟・単念珠
1月26日(木)	13:30～16:00	親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要 ＜西部会場＞	浜田組 覚永寺	山陰教区勤式担当者	「新制 御本典作法」経本、平服・布袍・輪袈裟・単念珠

新型コロナウイルス感染拡大への対応について

2022(令和4)年度開催予定の行事について、新型コロナウイルス感染症の感染動向により、日程を変更する場合がございます。

その際は、文書や教区公式サイト等でお知らせいたします。

山陰教区・山陰教堂「親鸞聖人御誕生  
八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法  
要」の修行について

二〇二二(令和四)年、「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」をお迎えするにあたり、このたび、山陰教区・山陰教堂における慶讃法要を修行いたします。

日程・内容など詳細は、法要委員会などで協議を進めております。

〔期日〕二〇二二

(令和四)年

十月三日(月)

〔会場〕出雲市民会館

大ホール

〔定員〕六百人

〔内容〕

・慶讃法要

・記念布教

・特命布教使

・協賛行事

・釋徹宗 師、

月亭方正 氏

※掲載内容は、三月三十日現在の情報です。



3月24日、本願寺山陰教堂運営委員会の開催後、「親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要 山陰教区・山陰教堂法要事務所」の看板を山陰教堂入口に設置しました。 看板揮毫：龍野清閑 氏 (大田中組 龍善寺 前任職)



## 鳥取伯耆組の現状

鳥取伯耆組 組長 上杉信成

鳥取伯耆組は、鳥取県半分の中西部と広範囲にわたり、九ヶ寺が点在しております。

山陰にはどの地域にも過疎問題があります。地域ごとに抱えている問題の特性は違います。

まず、三ヶ寺がある湯梨浜町は、町村合併前の旧羽合町、旧東郷町でも現状の違いがあります。

旧羽合町では、平野部という地域ということもあり、他市町の若い世代が転入してきており、人口は増えてきておりますが、それぞれ元々の実家があり、その寺院の檀家（真宗寺院以外がほとんど）で、門徒増には直結してはおりません。旧東郷町は、逆に人口が減ってきており、それに伴い、門徒も減少してきております。

二ヶ寺ある倉吉市では、他町村からの出入りがありますが、旧市街地は高齢者家庭が多く、それが門徒減に繋がっている状態です。

琴浦町には一ヶ寺あり、人口は減少傾向にありますが、現在は門徒減の影響はなく、維持をしている現状

です。

この三市町においては、近年喪主が県外ということが多く、そのご門徒とどう繋がるかが今後の課題でもあります。

西部地域は米子市・境港市にそれぞれ一ヶ寺ずつあります。米子市は中西部の最大の都市部ですが、ここ数年で人口が二万人減少。県外に仏壇ごと出られる傾向があり、それが門徒減に繋がっております。

境港市では、経済成長の頃は他地区から入ってきた方も多く、それに伴い門徒も増えましたが、現在は同じく県外に出られる方が増加し空き家も多くなってきました。門徒も減少してきております。

日南町では特に過疎が深刻で地域に五十軒ほどしかなく、三代揃う家庭がほとんどないため、今後の寺院維持が難しい現状です。

この鳥取伯耆組の現状は山陰教区全体の課題とも重なります。ただ、島根県との違いは、こちらは真宗寺院が少なく禅宗寺院が多いところであり、転派してご門徒になられるこ

ともあるようです。

組内寺院のほとんどの住職が三代から五十代となり、常々ともに悩みを共有してはいますが、諸先輩からのご指導を仰ぎながら、この現状の課題に対して組内で、またそれぞれの寺院で取り組んでいきたいと思っております。



### つぶやき 職員

職員の「つぶやき」コーナーが復活するからお願いと言われ、過去の記事を参考にしましたが、ハードルが上がって、読むんじやなかったなと…。

教務所に勤務して一年、今までの人生においてこんなにも早く過ぎ去った一年があっただろうか。振り返ってみると、やはりコロナに振り回された一年であり、研修会を計画しては延期、中止と

なり、次こそは開催できるとホッとしたのもつかの間、また中止…。その繰り返しであったように思います。

そして何より、最初の大事な一年目に、ほとんどの研修会や総会を経験することができなかつたことは残念でなりません。しかし、マイナスなことばかりを考えるとしかたがないので、これもひとつの大きな経験ととらえ、前向きに考えます。次は皆さまに楽しんで読んでもらえるネタも探しつつ、日々精進してまいります。(M・S)

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

**JTB** 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB 山陰支店**

〒690-0003

松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階

TEL 0852-23-6720

FAX 0852-23-7739

営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

少子高齢化、過疎過密、核家族化・単身世帯の増加、そして価値観の多様化など、お寺を取り巻く社会環境は激変しています。大切なことが伝えられてきた家制度(門徒制度)の崩壊、お寺離れ、そして仏事の簡素化など、お寺は今まで経験したことない時代を迎えています。

そのような中、宗門総合振興計画で「寺院サポート講座」が提案され、そのカリキュラムの一つが「お寺のビジョン作成研修」です。

社会環境の変化を嘆きつつ、闇雲にその場凌ぎの対応に一喜一憂するならば、そこには空しい疲労感だけが残ります。そうならないためには、現状と足元を的確に見据えて将来のビジョンを描き、その実現に向けての歩み(アクション)を始めることが大切です。

あたかも、浄土という行き先が定まるとき、生きる意味が見出されるように、明確なお寺のビジョンを持つとき、お寺の動き一つ一つに筋が通ります。裏返せば、浄土を持たぬ人生が空しく過ぎるように、ビジョンのないお寺の歩みも実を結びません。

この「お寺のビジョン作成研修」では、激変する時代に対応するため、受け手(門信徒や地域の人々など)の視点に立って「寺院運営計画書」を作成します。自分のお

寺のビジョンを全四回の研修を通じて、住職と護持運営にあたられる方々(坊守・総代・門信徒)がいつしよに体系的・実践的に描いていきます。それは、一ヶ寺一ヶ寺が持つ潜在的な力を活かした持続可能な計画書となります。

直近四カ年度に行われたモデル研修では、一四一ヶ寺(山陰教区十五ヶ寺)、二八六名が受講されました。

お寺のビジョン作成研修  
 ~10年、20年後の日本社会で求められるお寺となるために~  
 大田西組 西楽寺  
 菅原 昭生

その感想では「今まで漠然として、どう考えてよいか、わからなかったことに対する考え方が学べた」など、九十七%の方が「大変有意義であった」「有意義であった」と非常に高い満足度を持たれています。時代の変化という、抗えない大きな波に「どうせ無理だ」と呑み込まれるか、適切な動き方で乗り越えていくか。『お寺のビジョン』の有

無が、その分かれ目となるでしょう。「できるか、できないか」では、ずっとできません。「やるか、やらないか」で、できる道が開けます。

二〇二二年度は夕方・夜コースも加わり、多様な日程コースを選択できます。また、オンライン方式採用で全国どこでもご自坊から受講可能です。募集開始は四月。ご縁あつて、及ばずながら私もこの研修講師としてお手伝いしております。世界でたった一つの「〇寺(ご自坊)のビジョン」を描いてみませんか。是非ともご受講をお勧めします。

お寺のビジョン作成研修<全4回の概要>

	テーマ	内容
第1回	お寺の使命・外部環境分析	お寺の使命を探求し、外部環境を把握する
第2回	無形の価値・ビジョン	無形の価値の視点からお寺の強みを見出し、お寺の将来像(ビジョン)を描く
第3回	マーケティング	受け手の視点から寺院運営計画を具体化する
第4回	寺院運営計画書発表	寺院運営計画書の発表

編集後記

最近では食料品をはじめ、あらゆる物の値上げが報じられています。ガソリンや暖房に欠かせない灯油などの高騰には頭が痛い思いをしています。今年の一月からは、振替用紙を使って送金したり、ATMで硬貨を引き出そうものなら、一定の手数料が掛かるなど、皆さまのご寺院でも問題となつていくことでしょう。硬貨数十枚以上を持ち込むとこれまた手数料が掛かる。現金を使わずに口座から送金すれば手数料は必要ありませんが…。

世の中がキャッシュレス時代になり始めました。私はあまり買い物をする人間ではありませんが、使える所では電子マネーを使用します。中にはスマートフォンで支払いをする方もいらつしやると思っています。確かに現金で支払い、小銭でお釣りをもらうと邪魔になつて仕方がないことも多々あります。京都のとある本山では、スマートフォンでお賽銭が寄進できると聞いたこともあります。大手の銀行がシステムダウンを繰り返し、送金・入出金・航空券の自動発券ができなくなつたとか聞くと、何かがおかしくなると何もできなくなる、また、感謝もない世の中に不安を感じます。(S・J)